

令和4年度 呉竹総合支援学校 グランドデザイン



国の教育の目標

- ・共生社会の実現, 自立と社会参加
- ・連続性のある多様な学びの場
- ・個別最適な学びと共働的な学びの実現

京都市の教育の目標

- ・子どもを「できる存在」として捉え, できる姿を通して「生きる力」を育む
- ・地域社会と協働して, 社会に生きる子どもを育む
- ・自立と社会参加の実現に向けた生活態度や規範意識を育む

《 学校教育目標 》

地域社会で, 自分らしく生き生きと活動したいという児童生徒の願いを実現するために, 個々の可能性を最大限に伸ばす

【 重点目標 】

- 児童生徒一人一人の思いや反応を丁寧に受け止め, それぞれの子どもたちができる方法で意思を表出できるように取り組む
- GIGA スクール構想の中で, 情報端末等を, 子どもたちの可能性や生活を豊かにする目的のために積極的に活用する
- 小学部の児童から高等部の生徒まで幅広い生活年齢の子どもたちが在籍している強みを活かし, 小中高の継続性と連続性を重視した取組を推進する

学校の状況

【呉竹校の強み】

- ・和気あいあいとしたあたたかな雰囲気
- ・多様な文化を受け入れる柔軟性や寛容性
- ・フットワークのよい行動力や行事に向かうパワー

【呉竹校の伸ばしたい点】

- ・小中高の継続性と連続性
- ・教職員の専門性, 資質能力の向上
- ・地域への発信と協働

＜ 小学部の教育目標 ＞

基礎的・基本的な力を充実させるため, 健康な身体を作り, 自分でできることを広げ, 人との関わりを育てる

【重点目標】

- ・健康な身体を作る
- ・自分でできることを広げる
- ・人との関わりを育てる

バトンを
しっかり

＜ 中学部の教育目標 ＞

基礎的・基本的な力をもとに, 学校や家庭や地域とのかかわりの中で, 自ら考え, 自ら活動する主体的な態度を育み, 自分の可能性を広げる

【重点目標】

- ・基礎的・基本的な力をさらに高める
- ・自ら考え, 自ら活動する主体的な態度を育む
- ・自分の可能性を広げる

バトンを
しっかり

＜ 高等部の教育目標 ＞

これまで培った力をもとに, 学校・家庭・地域の中での活動を通して社会参加と自立に向けた実用的な力を伸ばす

【重点目標】

- ・生涯にわたった必要な技能や学力の向上を目指して, 主体的に考え行動する意欲や態度を培う
- ・社会の中で必要なルールやマナーの定着を図り, 社会の一員としての意識を高める
- ・一人一人の願いの実現を目指して, 自己理解・自己選択・自己決定する力を育てる

- 🍷 ワーク体験 🍷 ライフ体験 🍷 中学部の生活って?
- 🍷 児童生徒会への積極的な参画(あいさつ運動や司会など)

- 🍷 ワーク体験 🍷 高等部の生活って?
- 🍷 児童生徒会への積極的な参画(中高リーダー会など)

- 🍷 交流学年の取組: 「小低一中 1-高 1」, 「小中一中 2-高 2」, 「小高一中 3-高 3」
- 🍷 教職員もつながる: たてわりメンバーでの研究推進
- 🍷 各部をこえての積極的な人事配置

＜ 支援部の経営方針 ＞

- 社会参加と児童生徒の願いを実現する学校教育目標に向けて, 一人一人の可能性を最大限に伸ばすための校内支援を行う
- 地域における相談支援センターの核としての機能を充実し, 地域とともに歩む支援学校として, 地域支援の充実を図る
- 支援部内のシステムを簡素化することによって, 気軽に相談できる雰囲気づくりと手続の簡略化を行い, 相談支援機能の活性化を進める

【取組の重点】

- ・専門性の向上
- ・校内支援
- ・地域支援(育支援センター)
- ・広報の取組